

警鳴装置点検表

検査項目		検査内容	補正・補修事項	判定
本体	外 函	厚さ1mm以上の鉄板は腐食等生じていないか。		適・否
	錠	なんきん、えび錠を使用していないか。(錠)		適・否
	開口部	雨、雪、虫等が入り難い構造となっているか。		適・否
		外部から回路、警報部に直接接触しえないか。		適・否
警報器	種 類	サイレン・ブザー・ベル・その他()		適・否
	音 量	1mの距離で80ホーン以上あるか。(ホーン)		適・否
回 路		庫内電流は10ミリアンペア以下になっているか。		適・否
		切断により警報、警鳴が鳴るか。		適・否
		保安装置(避雷器、ヒューズ)は正常か。		適・否
		装置の作動テストにより、スイッチを押したとき、警報、警鳴が鳴るか。		適・否
電 源		電圧の消耗状況を示すメーター、標示灯は正常に作動しているか。		適・否
		交流使用の場合、停電等により自動的に予備電池に切り替わるか。		適・否
そ の 他		警報を止めるスイッチ、作動テストスイッチ、電池及びメーター類は収納設備の内部に設けてあるか。		適・否
		故障箇所の発見、部品取換、修理が容易に行えるよう予備品、取替品等は用意してあるか。		適・否
備 考				